

## インターチェンジの有無による違い（その2）

	開削ボックスと考えられる区間 内にある建物数	区市別
目白通りインターチェンジ がある場合	JCTの範囲内	
青梅街道インターチェンジ がある場合	約410棟増	練馬区： 約240棟 杉並区： 約170棟
東八道路インターチェンジ がある場合	約120棟増	三鷹市： 約120棟
国道20号インターチェンジ がある場合	約460棟増	三鷹市： 約130棟 調布市： 約330棟
世田谷通りインターチェンジ がある場合	約70棟増	世田谷区： 約70棟

注1) 建物数は、都市計画図を用いて、地下構造を想定した場合の概ねの数であり、具体の調査・設計等により変動する概数です。